

こどもの日（^{たんご} ^{せっく}端午の節句）について

4月30日（木）

5月5日は「こどもの日（^{たんご} ^{せっく}端午の節句）」です。
こどもの日にちなんだものや食べ物には、こどもの
幸せを願う多くの人の気持ちがこめられています。



『かしわもち』について

かしわの葉は、次の葉が生えるまで古い葉が落ちません。
そのことから、どの家庭もこどもに恵まれ、あとつぎがたえない
ようにとの願いをこめて柏もちを食べる習慣があります。

『ちまき』について

こどもの日に食べる「ちまき」は地方や家庭によって作り方が少しずつちが
います。大村では、もち米やうるち米を竹の皮で三角に包み、ゆでたり蒸し
たりして作ります。ちまきの米の割合を変えたり、中に小豆やえんどう豆を
混ぜたりと、それぞれに家庭の味があります。



『しょうぶ』について

^{じゃき}邪気をはらうとされ、こどもの日には、しょうぶ湯に入る習
慣があります。しょうぶが勝ち負けの「勝負」に通じることか
ら、^{たんご} ^{せっく}端午の節句に使われます。

『こいのぼり』について

中国にある大きな川（^{こうが}黄河）の滝を、コイが力を
こめて勇ましくのぼるという話にちなみ、こどもの
健やかな成長を願って縁起のよい「こいのぼり」を
空高くあげるようになりました。

